

政策転換が必要です！みなさんは、どう考えますか。

人権教育推進事業は、町立吉田集会所ではなく北部交流センターに移しましょう

6月議会で町立吉田集会所2度目の追加耐震診断再調査に113万4千円を予算化。昨年の耐震診断結果(予算220万5千円)は低強度、外壁落下危険・がけ地、改築せざるをえません。改築は予算が高額です。近くの北部交流センターと統合すべきです。精密な耐震診断は無駄です。

町立吉田集会所を廃止しましょう。
吉田集会所と北部交流センターを統合し、町立吉田集会所事業経費毎年約150万円を交通の不便な北部地区の人の足の確保のために北部交流センターを中心としたデマンド交通を立ち上げ、その経費の一部にしましょう。



北部地区は、山が多く、自動車なしでは公共施設・買い物・病院は不便です。75才以上の自動車免許のない人だけが使えるタクシー券ではなく、すべての人が利用できるドアツードアのデマンド交通が特に**北部地区**には必要です！！

予算は、現代に必要な事業を選ばざるを得ないのです。皆さんの考えは。

地方議会は、議決して国に意見書を提出できます。

- ①年金2.5%削減中止を求める意見書は 可否同数、議長採択でした。嵐山町議会では珍しい結果です。
- ②子宮頸がん予防ワクチンの一時停止・被害者救済の意見書は9対3で可決しました。 6月14日、国が積極的勧奨(進める)ことを一時中止決定。

反対討論 = H 議員 20~29才の女性に急激に子宮頸がんが増えている。性活動の活発な若い世代に発生。予防策が必要。副反応の報告は、日本脳炎より低い。厚生労働省は中止は必要ないと決定した。

賛成討論 = 私 これ以上被害者を出さないことが必要。一時中止し、リスクとベネフィットを検証しても、中1女子で性活動をする人はほとんどいない。子宮頸がんワクチンは日本脳炎・他のワクチンよりも副反応の被害は高い。副反応の被害救済が必要。

賛成討論 = A 議員 被害者の親や当事者が一番大切。嵐山町では、3回子宮頸がんにかかるワクチン接種などの意見書を3回提出した。重篤な副作用がでることがわかったので、検証することが大切

6月14日の厚生労働省ワクチン副反応検討委員会を傍聴。製薬会社から多額の寄付をもらっている委員は意見を述べても議決できない仕組みです。3対2でした。企業と濃厚な関係の委員は議決できない仕組みは重要です。

議員名	会派	①年金2.5%削減中止を求める意見書	②子宮頸がん予防ワクチン接種事業の検証と副反応被害者への救済を求める意見書
森一人	政友会	×	
大野敏行	政友会		
佐久間孝光	政友会		
青柳賢治	政友会	×	
小林朝光	政友会	×	×
畠山みゆき	政友会	×	×
吉場道雄	政友会	×	×
河井勝久	社民党		
川口浩史	共産党		
清水正之	共産党		
安藤欣男	政友会	×	
松本美子	政友会	欠席	欠席
渋谷登美子			
長島邦夫	議長		



渋谷とみ子の会 埼玉県比企郡嵐山町平沢254-64 Tel / Fax 0493-62-7997
http://space.tom-shibuya.com e-mail 713@tom-shibuya.com